学校番号	３２０

令和３年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ　改訂版「Tutti」（教育出版）						
副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習　（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・聴く、演ずる、創るという音楽の諸活動を通して、実際に音楽そのものを体験することで、音楽における知識と技能を身につけてほしいと考えている。
・学習の到達度は、提出物（ワークシート）と実技テストで評価する。
・音楽の学習は、実際に音楽に接することによりなされるもので、とくに他者とアンサンブルすることにより、より深まっていくものである。
・音楽を生涯にわたって愛好する心情を育ててくれることを期待している。

2　学習の到達目標

音楽の知識や技能を身につけることは必要であるが、さらに表現活動においては、単に楽譜を正確に演奏できるのみならず、能動的に音楽表現ができるように努める。また、音楽作品の鑑賞においては、音楽の響きを味わうのみならず、音楽作品に含まれる精神性や文化的な側面なども聴き取れるように努める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージを持って豊かな声で歌い上げよう！～出会いのうた～	【歌唱】 校科 翼をください 少年時代	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーアンサンブルを楽しもう	【器楽】 アニメメドレー	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取組もうとしている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファーストステップ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 バレエ音楽 ボレロ(ラヴェル)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、そのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	
2学期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 この道 椰子の実	○	○	○		a:曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うか表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発生、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズミック・パフォーマンス	【器楽】 ヤンチャな チャチャチャ	○		○		a:普段使わない難しいリズムに関心をもち、意欲的に表現しようと主体的に取り組もうとしている。 c: 表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取

		【創作】 リズム・アンサンブル	○	○	○		a:学習したリズムを使い、その特徴と表現上の工夫をし、リズム・アンサンブルを創作する。 b:リズムの働きと効果を考え、その組み合わせによる表現意図をもっている。 c:表現したいことを表す技能をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歌舞伎に親しむ	【鑑賞】 勧進帳	○			○	a:日本の伝統音楽である歌舞伎に関心をもち、実際に長唄を歌うことにより独特の表現に親しむ。 d:日本音楽の独特の雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考え、音楽に対する理解を深め、そのよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターの演奏に挑戦してみよう	【器楽】 グリーンスリーブス	○	○	○		a:ギターのアンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取組もうとしている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	鑑賞のステップアップ ～声の魅力を探ろう～	【鑑賞】 オペラ「魔笛」より 「恋人か女房が」 (モーツァルト)	○			○	a:総合芸術オペラの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚・感受し、アリア「恋人か女房が」とその演奏を解釈したり、それらの価値を考えることによりオペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 カーロミーオベン (斉唱・原語)	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 大地讃頌	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。